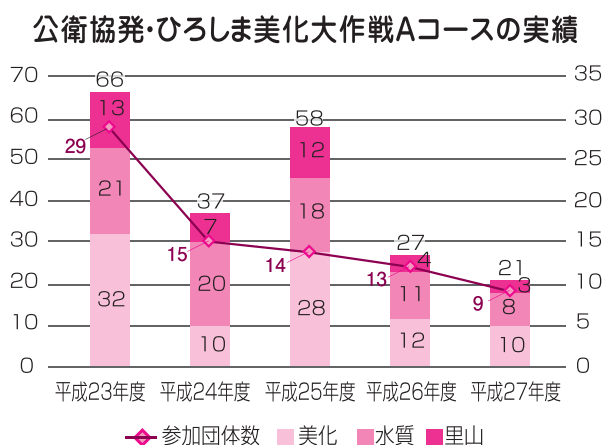


全県共通重点メニュー振り返り(公衛協発・ひろしま美化大作戦)

全県で取り組まれる公衛協の基幹活動 成果の集め方、見せ方に苦慮

公衛協発・ひろしま美化大作戦は、次世代に住みよい環境を残すこ



公衛協発ひろしま美化大作戦Bコースの実績

	平成26年度	平成27年度
事業数	187件	326件
参加人数	104,914人	159,881人

と、継続して自然の恩恵を享受できる環境を維持することを目的に、「地域清掃・美化」「水質改善・保全」「里山づくり」の3つの取り組みを支援するもので、平成23年度から継続しています。また、平成13年から取り組んできたアドプトN.E.Tひろしま事業も含まれます。

この事業では、環境の維持のための実践取り組みはもちろし、活動場所ごとの活動記録を蓄積し広く住民に公表することで、公衛協のPRを図ることもねらいとしています。

平成23年度から平成25年度までは、申請公衛協(支部・地区・学区単位含む)にアドプトサインのほり、花の種、バックテストなど活動

に、継続して自然の恩恵を享受できる環境を維持することを目的に、「地域清掃・美化」「水質改善・保全」「里山づくり」の3つの取り組みを支援するもので、平成23年度から継続しています。また、平成13年から取り組んできたアドプトN.E.Tひろしま事業も含まれます。

そこで、平成26年度からは、従来の支援(Aコース)を残しつつ、公衛協事務局へ活動実績の報告を依頼(Bコース)し、市町公衛協でどのくらい環境を維持する活動が展開されているのか、把握する取り組みを始めました。

この結果、平成27年度は、17公衛協から報告を頂き、延べ326回の事業が展開され、15万9千881人が活動に参加したことが分かり

平成28年度地球温暖化対策地域協議会活動支援事業

これまでの経験活かし各地で事業展開 更なるステップアップ新たな取り組みに挑戦

脱温暖化センターひろしまでは、脱温暖化のまちづくりの推進に向け、県内の地球温暖化対策地域協議会(以下、TEAMとします)を対象に活動助成を行っています。

平成28年度は1申請あたり3万円を上限に募集したところ、21TEAMから応募がありました。その中からいくつかの事例を紹介します。

◆**出前講座「広島市地球温暖化対策地域協議会」**

広島市内の公衆衛生推進協議会や小学校、公民館等へ働きかけ、座学と体験を組み合わせた出前講座を展開します。座学は、子どもと大人向けで内容を変えるなど幅広く対応。体験学習は、子ども向けには「牛乳パックを用いたごみ収集車工作」、大人は「家電の消費電力等の測定」や「ネクタイのリサイクルによるネックレス制作」といったように、工夫を凝らします。

◆**呉市環境活動リーダー研修「くれ環境セミナー」【くれ環境市民の会】**

4つの部会がそれぞれ実施している講座を抜粋し、半年間にわたる総合的な「くれ環境セミナー」を企画。一般市民を対象に、新たな人材発掘や仲間づくりにつなげるとともに、セミナーの企画運営を通じて部会間の協働体制を強化し、人材育成と活動の活性化を図ります。

◆**COOL CHOICE(クールチョイス)推進事業【かんきょう会議 浮城】**

温暖化対策に向けた「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE(ク

ルチョイス※詳しくは3面参照)を推進するため、5回シリーズのワークショップを実施します。季節に応じ、また、実際の暮らしに活かせる取り組み事例の紹介などを通じて「賢い選択」ができる人を増やし、脱温暖化活動を盛り上げていきます。

このほか、各TEAMがこれまでの経験を活かし、更なるステップアップを図り、新たな取り組みに挑戦するなど、各地でさまざまな事業が展開される予定です。

(脱温暖化センターひろしま)

○平成28年度助成団体一覧○

- 1 府中町脱温暖化市民協議会
- 2 広島市地球温暖化対策地域協議会
- 3 くれ環境市民の会
- 4 脱温暖化ぬまくまフォーラム
- 5 脱温暖化ネットおんど
- 6 大崎上島けんこう文化の島づくり協議会
- 7 地球温暖化対策はつかいちさくら協議会
- 8 エコINNくろせ
- 9 布野の食と脱温暖化を考える会
- 10 町づくり脱温暖化やすうら
- 11 ひがしひろしま環境家族
- 12 倉橋の海とくらしを守る会
- 13 脱温暖化プロジェクトせら
- 14 くい環境会議
- 15 海田町地球温暖化対策地域協議会
- 16 脱温暖化・門田地域協議会
- 17 栗原地区地球温暖化対策地域協議会
- 18 竹原市地球温暖化対策地域協議会
- 19 かんきょう会議 浮城
- 20 しのうエコ推進会
- 21 脱温暖化福山中央地域協議会

専門研修「ごみ減量・3Rコース」終了

定員を大幅に上回る盛況ぶり

専門的な知識や技術を習得し、中堅的な位置づけで公衛協活動に関わる人材育成を目的とした「専門研修」を5月から開催しています。そのひとつとして、5月30日と6月17日に「ごみ減量・3Rコース」を開催しました。

今回は、①ごみ減量・3Rに関する知識の習得②各団体でごみ減量に関する実践活動ができる準備をすることを目的に、座学と体験でプログラムを構成。公衛協などに参加を呼びかけ、



シートとカードを使って、分別方法を振り返る(上)、貸出グッズを利用して、ごみ分別や再生について学ぶ(下)

5市5町公衛協などから64名が参加し盛況でした。

まずは、参加者それぞれのごみに関する価値観を、簡単なワークを通じて確認。同じようにごみ問題に関心を持っている人でも価値観が違っていることを、改めて感じました。その後、ごみ減量の取り組みを

表した「3R」や廃棄物に関する法律について学習し、具体例を聞きながら取り組み方法を学びました。次に、カードを使って各市町の分別方法に従って実際に分別をする実習を行いました。

この実習は簡単にできる手法として、参加者に好評でした。

午後からは、牛乳パックを使ったリユース工作と風呂敷包みの実習を行いました。はさみや色紙、ボンドを使いながら小物入れを作製しましたが、参加者全員、黙々と制作作業を行っていました。作り方の解説本を見ながら実際の作品を作ることで、さらに理解が深まったようです。(地域支援課)

参加者からは「研修時間が長いと思っていたけれど、楽しく学べた」「牛乳パックの工作は、子どもたち対象に実施したい」「ごみの減量に関することは、継続して研修の場を設けて欲しい」といった声があり、改めてごみ問題への関心の高さがうかがえました。

専門研修は、9月に「広報・ツールづくりコース」、1月に「企画づくりコース」を開催します。研修の場は、他地域の取り組みを実践者から直接聞く機会になります。ぜひ専門研修に参加して、今後の公衛協活動のヒントや新たに始める活動のきっかけにしてください。(地域支援課)